



発行日 2015. 9. 2

生活クラブ連合会
TEL:03-5285-1898
FAX:03-5285-1839

★楽しい夢都里路くらぶフェアでした (東京、8.29)

「暖かく、自然な雰囲気、来てみて良かったです！」

♥生活クラブ館(経堂)のフェアに45人が参加、生産者のブースをまわって生産者との輪を広げました。

全体会では、加美よつば農協の小松史郎さんから、加美よつばと生活クラブとの共同農場「加夢onくらぶ農園」の取り組みの話がありました。



全体会 参加者からの体験談



ながさき南部のブース

後半の生産者ごとのブースは、試食や、産地の観光マップなど多彩なブースとなり、企画の詳しい説明や、産地の様子を聞ける、楽しく暖かいフェアとなりました。参加した方からは、「どんな会か、初めてで想像がつかせませんでしたけれど、暖かく、自然な雰囲気、来てみて良かったです。参加者の方たち、みなさんとも積極的にエネルギーです。楽しい会だなあ、と思いました。良い機会をありがとうございます。地域の伝統の作業、手作業を体験してみたいと思います。(東京、30代女性)」

「単純に農作業がしたい、土に触りたいと思い、この企画に興味を持ちました。子どもが小さいので、援農も難しいとは思いますが、参加できる企画がありましたら、是非参加したいと思います。(東京、40代女性)」



まだ若いレモン(紀州果宝園)

「説明会に参加できてとても良かったです。個人的には、野菜作り等の体験や援農をしたいと思っています。(東京、60代女性)」

「試食の王隠堂の「柿チップ」とやさかの「有機トマトジュース、やさか仙人」がとてもおいしかったので、取組をして頂きたいと思いました。参加者に若い人が多く、とてもうれしく思いました。(千葉、50代女性)」

などの声が寄せられました。次回は3月の予定です。楽しい夢都里路くらぶフェアに是非おいでください!



JA庄内みどりと遊佐町のブース



就農相談(西日本FU)



さんぶ野菜ネットワークのブース

★春の企画参加者の声



北海道小清水町でブロッコリーの収穫

●「北海道もブロッコリーは機械ではなく手作業で収穫！」(JAこしみず)

・早朝のブロッコリー収穫作業からはじまり、選果場でのブロッコリーの箱詰め、氷詰めなど出荷前の作業を一通りしました。ブロッコリーはその日の天候や日照時間によって朝夕の収穫する量が変わります。そのため、機械ではなく手作業(包丁で切り取り、葉をそろえて指定の大きさに調整する)で収穫していたことを今回の体験で初めて知りました。

収穫をしているときにふと見える斜里岳や、緑豊かな広大な農地、車の窓からみえるオホーツク海など、東北北海道ならではの景色を存分に堪能しました。(茨城、20代女性)

●「無農薬田の草取りで大変さのごくごく一部を体験！」(JA庄内みどり)

・百聞は一見に如かず。やはり体験して初めて、その大変さのごくごく一部を知ることができました。鳥海山を望む美しい景色の中で、田んぼを渡る風の心地よさ!この様子にとっても幸せな気分になりました。生活クラブが食糧基地として庄内と関係性を持っていることが、私たちは本当に幸せだとつくづく思います。「よくぞこの地を選んでくださった」と思わずにはられません!(東京、50代女性)

秋冬企画の問い合わせ・申込は、夢都里路くらぶTEL:03-5285-1898まで

次号発行予定 9/20ごろ